

富士箱根：富士山 剣ヶ峰

- ◆日程 2018年5月5日(土)
- ◆メンバー L：前田、池本、小山田
- ◆天候 晴れ

前日19時に大和駅集合し、前田号で富士山5合目を目指す。当初予定していた5合目駐車場よりもトイレがきれいだから、という理由から、手前の道の駅に停める。車中泊できる素晴らしい車で、実に快適な寝心地でした。

5時起床、富士宮口5合目まで移動し、夏道を歩き始める。雪はあまりないようだ。雪があればここから直登できるんだよ、と前田さんがルートを教えてくれる。早く登れそうだけど、急だなあ、なんてぼんやり思っていたが、後々そんなもんじゃないツルツルの急登が現れることをまだ知らない。ザレザレの歩きづらい夏道をひたすら上がって高度を上げていく。所々雪が現れはじめ、8合目から一面の雪で、アイゼンをつける。心配していた風は、まだそれほど強くない。9合目までは雪も柔らかく、大丈夫だったが、上から降りてきたひとが、頂上手前がツルツルでとても怖かった、と話していた。そして9合目の小屋上少し上がったところに負傷者がいるようで、10人ほどのひとが囲んでいた。ロープを持っていないか聞かれたが、我々にはない。迷ったが、協力できることはなさそうで、進むことにする。

上に行くにしたがって、風も強くなってきた。行ける所まで行き撤退もありだな、とチラツと思ったが、頂上の鳥居めざして、ひたすら登る。時々耐風姿勢をとることも多くなってきた。振り返ると絶景とともに、上がってきた斜面がいやに急に見える。夏道の手すりロープが高さ半分くらい、雪から顔を出している。9合5勺から上、たしかに凍ってツルツルになっているが、アイゼンはよく効く。もう少し、と自分に言い聞かせつつ、苦しいところを慎重に登る。鳥居をくぐり、浅間大社のところに出る。やはり風強く寒いが、登れた嬉しさに気にならない

荷物をデポし、剣ヶ峰へ。ここが本当の日本のおてっぺんだ。少し霞がかっているが、素晴らしい景色。荷物のところまで戻り、休憩したが、風がとても強く、座っているのもつらい。早々に下山開始。

さっきのツルツル急斜面を前田さん先頭で下りていたが、池本さんが滑ってしまった。私の目の前を通り過ぎ、前田さんが伸ばした腕をかすったが、間に合わない。ピッケル!と叫んだが聞こえていないようだ。5メートルほど下にあった夏道の手すりロープにつかまって、やっと止まった。お互い落ち着くまで待ち、



さらに慎重に下りる。9合目まで下りてきたとき、遠目に、ツェルトにくるまれた荷物が見えた。さっきの負傷者は下りられたのかな、と思いつつ8合目の小屋まで下りると、静岡県警の救助の方がいらした。嫌な予感がした。聞くと、さっきの負傷者は心肺停止だという。気を付けて下りてくださいね、と言われる。登山口まで下りる間、10人ほどの救助の人とすれちがった。安全登山に徹しなければ、と肝に銘じた。(記：小山田)

CT：富士宮口5合目7:00 - 8合目9:55/10:15 - 9合目11:00 - 9合5勺11:50 - 富士宮口頂上12:35 - 剣ヶ峰12:55/13:05 - 富士宮口5合目17:00